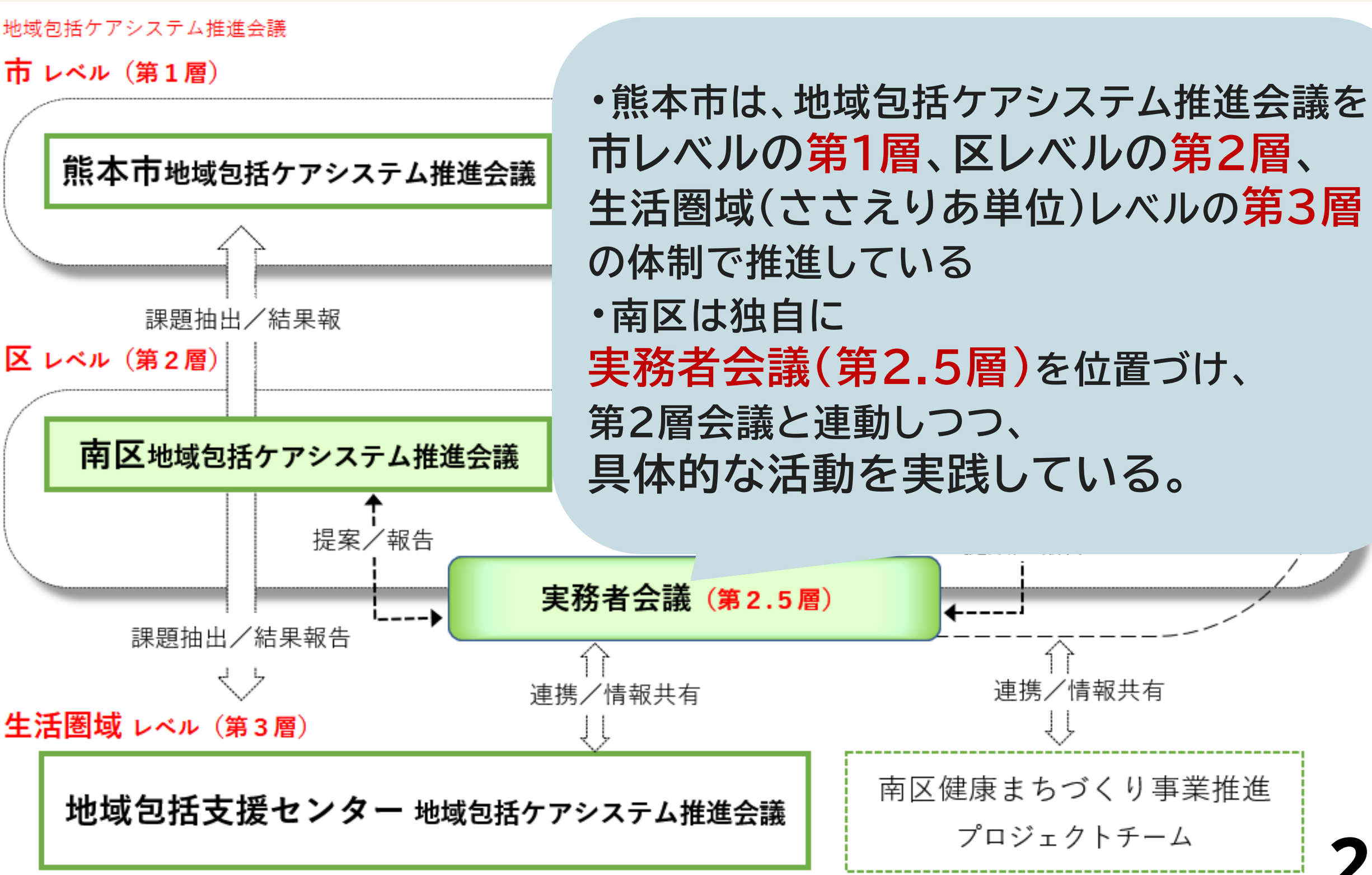
令和８年（2026年）10月21日（水）14時00分

令和８年度　第１回
南区地域包括ケアシステム推進会議

南区役所福祉課



南区地域包括ケアシステム推進体制



・熊本市は、地域包括ケアシステム推進会議を、市レベルの**第1層**、区レベルの**第2層**、生活圏域（ささえりあ単位）レベルの**第3層**の体制で推進している

・南区は独自に**実務者会議（第2.5層）**を位置づけ、第2層会議と連動しつつ、具体的な活動を実践している。

南区地域包括ケアシステム推進方針

1 高齢者がいつまでも元気で自らの力を発揮できるまちづくり(介護予防)

2 医療と介護が充実し、市民が人生の最期まで在宅(地域)で安心して暮らせるまちづくり(医療介護連携)

3 認知症の人とその家族が地域で安心して暮らせるまちづくり(認知症支援)

4 高齢者が自らに合った暮らし方を選択できるまちづくり(高齢者の住まい関連)

南区地域包括ケアシステム推進方針

1 高齢者がいつまでも元気で自らの力を発揮できるまちづくり(介護予防)

2 医療と介護が充実し、市民が人生の最期まで在宅(地域)で安心して暮らせるまちづくり(医療介護連携)

3 認知症の人とその家族が地域で安心して暮らせるまちづくり(認知症支援)

4 高齢者が自らに合った暮らし方を選択できるまちづくり(高齢者の住まい関連)

推進方針1：介護予防分野の取組について

令和7年度の数値目標と達成状況（令和8年3月末時点）

		目標	実績
くまもと元気くらぶ	年間登録団体数	２３団体	２４団体
	年間参加者数（実数）	３９７名	５４５名
地域支え合い型サービス（通所B）	年間登録団体数	7団体	7団体
	年間参加者数（実数）	１３５名	１４６名

目標達成！！

令和8年度の数値目標

		目標
くまもと元気くらぶ	年間登録団体数	２４団体
	年間参加者数（実数）	４１７名
地域支え合い型サービス（通所B）	年間登録団体数	8団体
	年間参加者数（実数）	１４５名

※くまもと元気くらぶ等の活動状況については、別紙1参照

推進方針1：介護予防分野の取組について

第5回　オンライン通いの場交流会（令和8年7月3日開催）

南区内の元気くらぶや通所型サービスB、高齢者サロンなどの参加者が集まって、通いの場の活性化や活動継続のためのアイデアを一緒に考えたり、情報共有を行うことを目的として6か所のささえりあの生活支援コーディネーターが中心となって開催。今年度も7月3日（金）に、各会場をオンラインでつないで実施しました。

アスパル富合会場

飽田公民館会場



南部在宅福祉センター会場

幸田公民館会場

推進方針1：介護予防分野の取組について

第5回　オンライン通いの場交流会（令和8年7月3日開催）







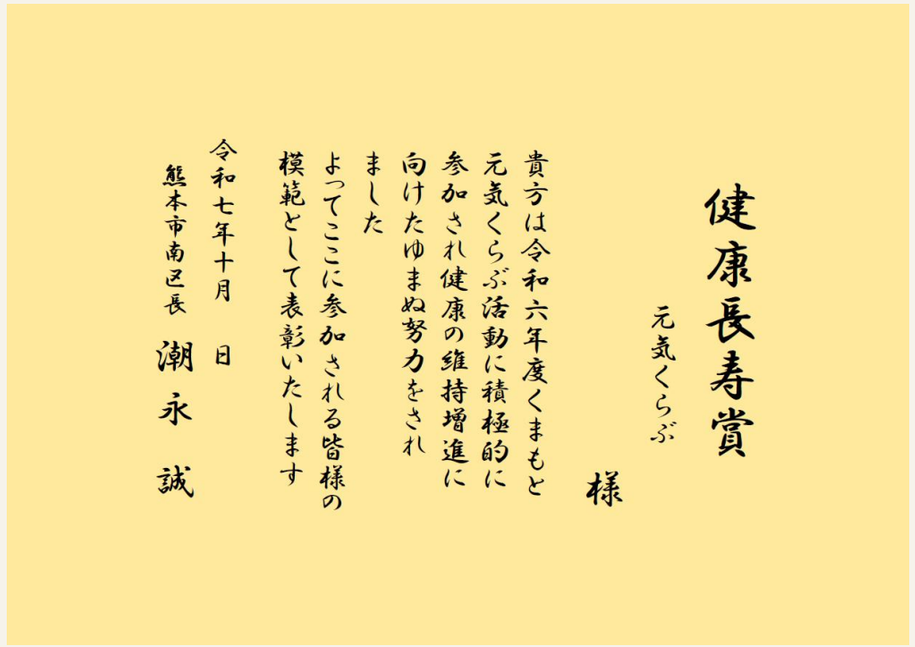




推進方針1：介護予防分野の取組について

くまもと元気くらぶ参加者の中で90歳以上および皆勤賞表彰

南区内の元気くらぶの前年度参加者の中で、90歳以上の方へは「健康長寿賞」、一年間休まずに参加した方へは「皆勤賞」を副賞とともに授与しました。活動継続のモチベーションを維持してもらうことを目的としています。


健康長寿賞

元気くらぶ

様

貴方は令和六年度くまもと元気くらぶ活動に積極的に参加され健康の維持増進に向けたゆまぬ努力をされましたよってここに参加される皆様の模範として表彰いたします

令和七年十月　日

熊本市南区長　潮永　誠





推進方針1：介護予防分野の取組について

くまもと元気くらぶ参加者の中で90歳以上および皆勤賞表彰







【対象者】
- 表彰対象者が所属する団体　19団体
- 健康長寿賞　　23名
- 皆勤賞　　16名
- 最高齢　　99歳
- ダブル受賞　　3名
- ご夫婦での受賞（長寿賞）1組
- 2か所の元気くらぶで皆勤賞受賞1名

推進方針1：介護予防分野の取組について

介護予防分野における実務者会議（2.5層会議）

令和2年9月から介護予防分野における第2.5層実務者会議を開催しています。歯科医師・歯科衛生士・言語聴覚士・管理栄養士の各職種の職能団体、広域リハ、密着リハ、ささえりあ、福祉課で南区内の介護予防に関する課題の抽出や対応策の検討を行っています。



＜開催状況＞

令和7年度

1回目　令和7年5月21日(水)

2回目　令和8年3月11日(水)

令和8年度

1回目　令和8年5月26日(火)

2回目　令和9年2月ごろ

推進方針1：介護予防分野の取組について

介護予防分野における実務者会議（2.5層会議）



グループワークの様子



グループワーク後の
発表の様子

推進方針1：介護予防分野の取組について

介護予防動画制作（体操・口腔・栄養）



令和6年～7年度に介護予防動画制作プロジェクトチームが中止となって、南区の介護予防に関する課題に応じて、南区オリジナルの介護予防動画を制作しました。南区で活躍している人たちに動画に出演してもらうことで、南区の高齢者に身近に感じてもらえるよう工夫しました。DVDディスクの配布と熊本市公式YouTubeで公開しています。

推進方針1：介護予防分野の取組について

令和7年度動画制作プロジェクトメンバー

熊本県理学療法士協会	にしくまもと病院	波多埜理学療法士
熊本県作業療法士会	にしくまもと病院	島崎作業療法士
熊本県言語聴覚士会	ケアサポートメロン3R	毛利言語聴覚士
熊本県栄養士会	ひまわり在宅クリニック	浦田管理栄養士
熊本県栄養士会	御幸病院	田邊管理栄養士
熊本県歯科衛生士会		中村歯科衛生士
地域リハビリテーション広域支援センター（にしくまもと病院）		田中作業療法士

推進方針1：介護予防分野の取組について







ローソンさんで
撮影しました



推進方針1：介護予防分野の取組について

介護予防動画制作（体操・口腔・栄養）



公式YouTube　再生回数　約15000回
（R8年10月1日時点）

DVD配布枚数　令和6年度分　217枚
令和7年度分　232枚
（R8年9月末時点）

市が推奨する体操に認定されたため、
くまもと元気くらぶの活動条件を満たす体操として実施することが可能。

推進方針1：介護予防分野の取組について

栄養資料作成　『10食品群チェックシートと手ばかり栄養法』

10食品群チェックシート

主食（ごはん、パン、めん類）に加えて、
1日に1回でも食べた食品に〇をつけましょう。

1日に7個以上の〇を目指しましょう！	肉	魚	卵	大豆	牛乳乳製品	緑黄色野菜	海藻	芋	果物	油	〇の合計
1日目（　／　）											
2日目（　／　）											
3日目（　／　）											
4日目（　／　）											
5日目（　／　）											
6日目（　／　）											
7日目（　／　）											
7日間の合計											

他の自治体からの問い合わせもいただいています

1日に必要な食事の量を知ろう！

手のひらの大きさは体格に比例していることが多いので、手の大きさに合わせた量が、自分の適量の目安になります。

主　食

1回の食事で
1つを食べましょう。

ごはん



パン



めん類



主　菜

主菜は4つで1日分です。
肉と魚は手のひらの厚み
くらいにしましょう。

肉



魚



豆腐



卵



牛乳・乳製品

牛乳

200ml
人差し指の長さ



副　菜

1日350g（両手3杯分）
を目標にしましょう。
加熱するとかさが減って
食べやすくなります。

緑黄色野菜



淡色野菜



きのこ等



野菜プラスきのこ
や海藻、イモ類で
食物繊維アップ。
イモ類やカボチャは、
糖質が多いので、握りこぶしより
小さめの量にしましょう

果　物

握りこぶし1つ分が
1日の適量。

りんご半分





バナナ1本



みかん2つ



スイカ



ぶどう



熊本市南区福祉課・保健こども課

推進方針1：介護予防分野の取組について

栄養資料作成『10食品群チェックシートと手ばかり栄養法』

- **10食品群チェックシート**とは、高齢者の低栄養防止のために作られたもので、バランスよく食べるために使用するものです。
- **手ばかり栄養法**は、こどもから高齢者まで、自分に合った量の目安を簡単に知ることができる方法です。
- ホワイトボード用のペンを使って**繰り返し使用することができる**よう、ラミネート加工し、4000部作成しました。
- ささえりあ経由で、高齢者だけでなく、高齢者を支援するケアマネや事業所スタッフにも配布しました。
- 残り100部ほどになっています。

推進方針1：介護予防分野の取組について

体操資料作成

- YouTubeで動画を見ることが難しい方や、動画を見なくても気軽に体操していただくため、体操のポスターを作成しました。
- 動画の再生が難しいという方から、好評いただいています。

推進方針1：介護予防分野の取組について

熊本市 南区

南区 元気アップ体操

今日はどの体操にする？

棒を握って握力up ①

棒をしっかり握りしめながら、上下に移動させます。

目標：10回×３セット



棒を握って握力up ②

雑巾を絞るように棒を握りしめます。

目標：10回×３セット



棒をつかんで反応力up ①

棒を離して、落とさないようにつかみます。
棒を上に投げて下方をキャッチします。

目標：左右10往復ずつ



棒をつかんで反応力up ②

棒を左右に投げて、上手にキャッチします。

目標：20往復



肩の柔軟性up

腕を伸ばしたまま、前、上、前、右、前、左の
順番で動かして、肩の筋肉を伸ばします。

目標：前上前右前左を１セットとして10セット



腰の柔軟性up ①

腰から背中を丸める動作と、
背筋を伸ばす動作を繰り返します。

目標：曲げて伸ばすを１セットとして、10セット



腰の柔軟性up ②

腰を前に倒して、起こす動作を繰り返します。
棒を持った手は船をこぐように動かします。

目標：10回



腰の柔軟性up ③

上半身を左右にひねり、
ひねった方と反対側の足を伸ばします。

目標：10回



太ももの筋力up ①

棒を前に出したまま、棒に当てるイメージで
左右の太ももを交互に上げます。

目標：左右を１セットとして10回



太ももの筋力up ②

棒を前に出したまま、左右の膝を交互に伸ばします。

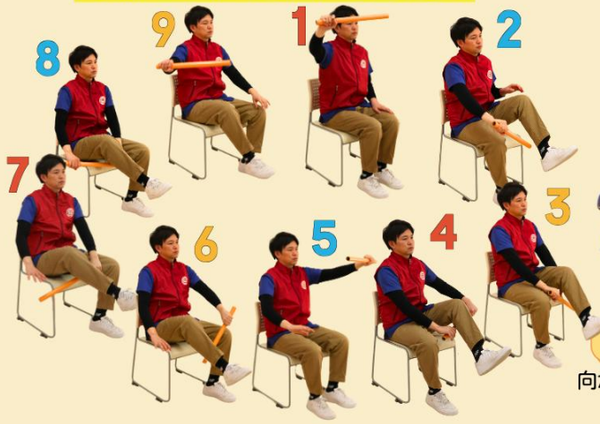
目標：左右を１セットとして10回



バランス力up ①

棒を左右の太ももの下を交互に通します。

目標：左右を１セットとして10回



バランス力up ②

安定したイスなどにつかまって、
左右の足のかかとを足と反対の手で触ります。

目標：左右を１セットとして10回



★番外編★

2人で握力、反応力up

向かい合って座って、お互いに棒を持って引き合います。

目標：10回



バランス力up ③

安定したイスなどにつかまって、身体をかがめて
左右の足のかかとを足と同じ方の手で触ります。

目標：左右を１セットとして10回



向かい合って座って、
お互いに棒を投げてキャッチします。

目標：１人10回キャッチしましょう



「おてもやん」や「サンバおてもやん」の
音楽に合わせて体操してみましょう♪





制作：南区福祉課　電話：096-357-4129
協力（五十音順）：熊本県作業療法士会、熊本県理学療法士協会、熊本地域リハビリテーション広域支援センター（にしくまもと病院）、
にしくまもと病院、放課後等デイサービスラポァレ、歩行リハビリセンターHIKORU琴平

南区地域包括ケアシステム推進方針

1 高齢者がいつまでも元気で自らの力を発揮できるまちづくり(介護予防)

2 医療と介護が充実し、市民が人生の最期まで在宅(地域)で安心して暮らせるまちづくり(医療介護連携)

3 認知症の人とその家族が地域で安心して暮らせるまちづくり(認知症支援)

4 高齢者が自らに合った暮らし方を選択できるまちづくり(高齢者の住まい関連)

推進方針2：医療介護連携分野の取組について

令和7年度の数値目標と達成状況（令和8年3月末時点）

		目標	実績
人生会議セミナー	年間開催回数	10回	10回
	年間参加者数	300名	328名
南区人生会議の日	参加者数	350名	260名

令和8年度の数値目標

		目標
人生会議セミナー	年間開催回数	10回
	年間参加者数	300名
南区人生会議の日	参加者数	350名

推進方針2：医療介護連携分野の取組について

医療介護連携分野における実務者会議（2.5層会議）

令和2年11月から始めた医療介護分野における第2.5層実務者会議を引き続き開催しました。南区の医療介護に関する課題の抽出や対応策の検討や、「第6回南区人生会議の日」（R8.11.29）イベント開催に向けた計画、多職種連携ミーティングの計画、次年度の取組方針等について協議しています。

令和７年度	１回目	２回目	３回目	４回目	５回目	６回目
開催日	４月２３日	６月４日	７月２日	９月３日	１１月５日	１月１４日

令和８年度	１回目	２回目	３回目	４回目
開催日	４月８日	６月１０日	８月１２日	１０月１４日

推進方針2：医療介護連携分野の取組について

令和３年10月、医療介護連携分野の2.5層実務者会議を**「みなまる会議」と命名。**
（ロゴを作成）



参加者

- にしくまもと病院医師
- 瀬口医院　はな小児歯科
- 桜十字病院地域連携室
- いきいきらいふ（訪問看護ステーション）
- 南熊本調剤薬局
- 熊本県作業療法士会
- 熊本市8020健康づくりの会南支部
- 熊本地域リハビリテーション広域支援センター（にしくまもと病院）
- 市医療対策課
- ひまわり在宅クリニック医師
- 済生会熊本病院医療福祉相談室
- 青い鳥（居宅介護支援事業所）
- 田迎ケアセンター（介護老人保健施設）
- 樹更（訪問介護事業所）
- 熊本市食生活改善推進員協議会南支部
- 地域包括支援センター（6か所）
- 南区福祉課

推進方針2：医療介護連携分野の取組について

医療介護連携分野における実務者会議（2.5層会議）



在宅医療介護チーム
グループ協議



人生会議チーム
グループ協議

推進方針2：医療介護連携分野の取組について

高齢者入居施設での看取り支援専門職派遣事業

令和6年度から新しく開始した事業です。高齢者入居施設から、看取りについての助言や研修の申込があった場合に、看取り経験豊富な看護師を施設設に派遣し、助言や研修を行うものです。

令和6年度は3事業所で実施しました。令和7年度は9事業所で実施し、令和8年度は、すでに11事業所から申し込みがあっています。



推進方針2：医療介護連携分野の取組について

高齢者入居施設での看取り支援専門職派遣事業（R7年度実績）

No.	研修実施日	施設名	受講人数
1	R7年5月26日	介護医療院　ゆずりは	24人
2	R7年8月26日	有料老人ホーム　ピュアート良町	10人
3	R7年11月20日	グループホーム　アクア	8人
4	R7年11月21日	グループホーム　ステラの風	7人
5	R7年12月9日	特別養護老人ホーム　祥麟館	23人
6	R8年1月14日	特別養護老人ホーム　はるの里	8人
7	R8年1月30日	特別養護老人ホーム　みゆき東館	20人
8	R8年2月13日	介護老人保健施設　白藤苑	11人
9	R8年2月17日	ホスピタルメント桜十字	25人

推進方針2：医療介護連携分野の取組について

高齢者入居施設での看取り支援専門職派遣事業



施設での研修中の様子





推進方針2：医療介護連携分野の取組について

多職種連携ミーティング

医療・介護・福祉に関わる多職種が集まり、事例検討を通してそれぞれの役割をお互いに意見交換することで連携を深めることを目的として開催しました。

企画や準備、当日の運営はみなまる会議のメンバーが中心となって行いました。

今年度は、9月11日(金)に開催し、86名の参加がありました。



会 場　幸田公民館 2階 大ホール

日 程　令和8年9月11日（金）18：30～20：00
（受付　18：00から）

対 象　高齢者入居施設スタッフ、医療機関地域連携担当者（MSW、看護師等）、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、在宅支援施設などで退院支援に関わる専門職
（南区外事業所も参加可能）

定 員　150名

内 容　『退院に向けた意思決定支援について』
複合的な課題を抱える事例を用いて、高齢者の意志決定支援のために関係者がどのように連携するか、本人だけでなく家族の支援をどうするか等について、研修参加者と一緒に考えます。

お申し込みは二次元コードからお願いします。
申込みの締め切り：９月４日
申込多数の場合はお断りすることがあります。
https://logoform.jp/f/wbcjn

南区役所福祉課
地域包括支援[illegible]
☎ 096-357-[illegible]

推進方針2：医療介護連携分野の取組について

多職種連携ミーティング





当日の様子



推進方針2：医療介護連携分野の取組について

人生会議セミナー

人生会議セミナーとは、人生の最終段階を、どこで、誰と、どのように迎えたいかということを、元気なうちから家族や信頼できる人と話し合い、共有しておくことの大切さを啓発するセミナーです。

南区では令和3年度から人生会議セミナーを開催しています。

年度	回数	合計
R3年度	4回	135名
R4年度	10回	261名
R5年度	17回	689名
R6年度	5回	154名
R7年度	10回	328名
合計	46回	1,567名

令和8年3月末時点

推進方針2：医療介護連携分野の取組について

人生会議セミナーの様子









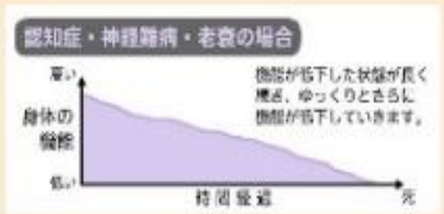
推進方針2：医療介護連携分野の取組について

私の想い手帳

『私の想い』手帳

①キリトリ線に沿って切り取ります。
②三つ折りにすると、お薬手帳に入るサイズになります

↓ キリトリ



※上記の出典
Lynn J,Adamson DM Living well at the of life
WP-137,Rand Corporation,2003-2002

医療・ケアにつ

『私の想い』手帳

Notebook for my life



おなまえ

本手帳は、横浜市「もしも手帳」及び、
熊本市「メッセージノート」を参考に
作成したものです。

熊本市南区福祉課　096-357-4129

『人生会議』はじめの一歩

①健康もしくは持病があっても
安定しているとき
あなたが、危篤状態で回復の見込みが乏しい状況になった時を想像してみます。
その時、あなたはどのような医療や介護を希望するか、家族等大切な人と話し合って**「手帳」**に書いてみましょう。

②医療や介護が必要になったとき
あなたの体や心の状態に合わせて、
家族等大切な人や、医療・介護の専門職の方々と話し合って考え、**「あなたの想い」**を書いておきましょう。



南区地域包括ケアシステム推進会議
実務者会議

(初版 2022/11)

もしもあなたが、病気や老化等のために身体が衰弱し、これ以上治療しても治らないような
人生の最終段階になった時、あなたはどうして欲しいですか？『今のあなたの想い』を書いておきましょう。

1 これからのあなたの人生、
「最期はどこで、だれと、どのように」
迎えたいですか？

質問❶ どこで
- □ 自分の家　□ 病院　□ 施設（特養・老健）
- □ 老人ホーム（サービス付き高齢者向け住宅等）
- □ その他（　　）

質問❷ だれと
※自分の想いを伝えている人・頼りにしている人
- □ 親　□ 配偶者・パートナー　□ 子ども
- □ 親戚　□ 友人
- □ その他（　　）

質問❸ どのように
- □ 延命治療（できるだけ命を延ばす医療行為）
- □ 延命治療せずに、自然な経過に任せる
- □ 緩和ケア（苦痛を和らげるような医療・介護）

2 そのとき、受けたい医療はありますか？ 当てはまるものに✓印をつけてください。
（複数回答可　※✓印は何度でも書き直して構いません。）

質問❶ □から食べることができなくなったとき
- □ 経管栄養（経鼻胃管）
- □ 胃ろう
- □ 特殊な点滴による栄養補給（中心静脈栄養）
- □ 点滴による水分補給（手や足の末梢静脈等）
- □ □からとれるだけの水分等で自然に任せる

質問❷ 呼吸や心臓が止まったとき
- □ 気管内挿管
- □ 心臓マッサージ
- □ 電気ショック（AED）
- □ 何もしなくてよい

質問❸ そのときに、連絡してほしい専門職
※連絡先の優先順に、（ ）内に番号を入れてください。
- （ ）かかりつけ医　（　　）
- （ ）訪問看護師　（　　）
- （ ）ケアマネジャー　（　　）

話し合った日（　　年　月　日）
話し合った人（　　）
書いた日　（　　年　月　日）

※本手帳は（表面）は、
熊本市「メッセージノート」を参考に
作成したものです。
詳細は同ノートのP11～P15をご参照ください。

推進方針2：医療介護連携分野の取組について

第5回　南区人生会議の日

令和2年度から、南区では医療・介護に携わる関係者とともに、「医療と介護に関する分かりやすい啓発」を目指し、「在宅医療」や人生の最終段階における医療を家族や身近な人と話し合う「人生会議」の大切さと「メッセージノート」について知っていただくことを目的としたイベントを開催しています。

このイベントは、みなまる会議メンバーとその所属機関のご協力によって毎年開催しています。

令和7年度のチラシ→



推進方針2：医療介護連携分野の取組について

寸劇の様子



会場の様子



スタッフ集合写真



推進方針2：医療介護連携分野の取組について

第5回　南区人生会議の日

【日　時】令和7年9月28日(日)13時30分から15時30分

【場　所】アスパル富合ホール

【参加者】260名(スタッフ含め314名)

【内　容】

（1）寸劇

「最期まで自分らしく～南さんちの『人生会議』ものがたり～」

（2）講話「在宅医療でできること」

「介護保険サービスってなあに？」

（3）『私の想い』手帳記入体験

※休憩時間を利用して介護予防体操実施

推進方針2：医療介護連携分野の取組について

令和8年度の予定『第6回　南区人生会議の日』（別紙5参照）

【日　時】令和8年11月29日(日)13時30分から15時30分

【場　所】熊本城ホール2階　シビックホール

【定　員】600名予定

【内　容】

（1）寸劇　　～南区令和ばってん劇団～

（2）講話　「在宅医療でできること」

ひまわり在宅クリニック　院長　後藤慶次先生

「人生会議のススメ」

にしくまもと病院　名誉院長　　林　茂　先生

※休憩時間の前に、南区オリジナル介護予防体操実施予定

南区地域包括ケアシステム推進方針

1 高齢者がいつまでも元気で自らの力を発揮できるまちづくり(介護予防)

2 医療と介護が充実し、市民が人生の最期まで在宅(地域)で安心して暮らせるまちづくり(医療介護連携)

3 認知症の人とその家族が地域で安心して暮らせるまちづくり(認知症支援)

4 高齢者が自らに合った暮らし方を選択できるまちづくり(高齢者の住まい関連)

推進方針3：認知症支援分野の取組について

令和7年度の数値目標と達成状況（令和8年3月末時点）

		目標	実績
チームオレンジ	団体数	5か所	4か所
認知症支え合い声掛け訓練	団体数	4か所	3か所
	年間参加者数	200名	104名
認知症サポーター養成講座	年間開催数	50か所	43か所
	年間受講者数	1600名	1821名

令和8年度の数値目標

		目標
チームオレンジ	団体数	6か所
認知症支え合い声掛け訓練	団体数	5か所
	年間参加者数	250名
認知症サポーター養成講座	年間開催数	50か所
	年間受講者数	1600名

推進方針3：認知症支援分野の取組について

チームオレンジ

　チームオレンジとは、認知症サポーターや地域の有志の方、ささえりあや福祉課がチームを組み、認知症の人や家族に対する生活面の支援を早期から行う取組みで、認知症の方もメンバーとして参加する場合もあります。

　すでに、力合西校区と令和6年度に立ち上がった天明地区の川口校区の2つのチームで、認知症サポーター養成講座に協力いただくなどご活躍中です。

　令和7年度は、新たに2チームが認定され、具体的な活動を展開しています。

推進方針3：認知症支援分野の取組について

チームオレンジ

	チーム名	校区	認定年度
1	しまの家	力合西	R5
2	えがおの〇(わ)	川口	R6
3	城南校区とともにつながる オレンジプロジェクト	城南	R7
4	くまもと SOGO SMILE		R7



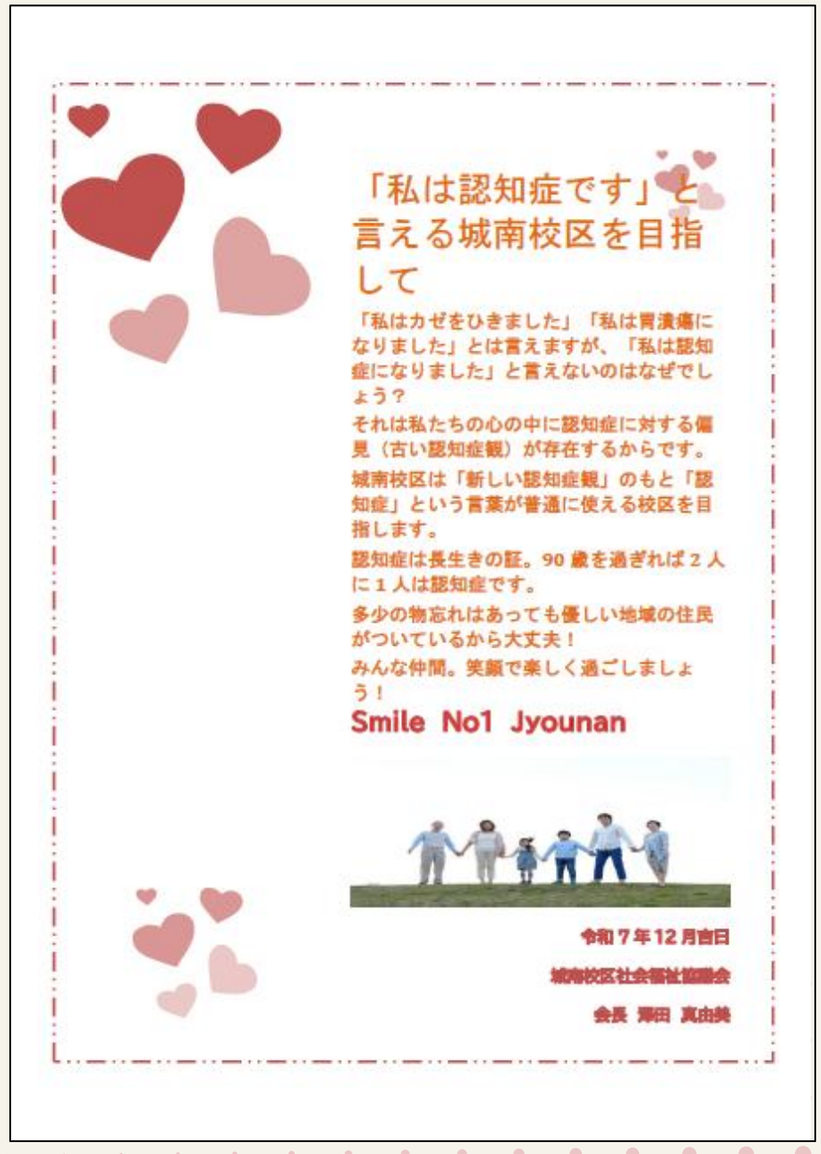


推進方針3：認知症支援分野の取組について

チームオレンジ







南区オレンジフェスタ(イベント)用に作成したポスターです。

推進方針3：認知症支援分野の取組について

認知症支え合い声掛け訓練





地域で認知症かもしれない方や、困っている高齢者を見かけた時に、どういったことに気を付けながら声をかけたり対応すればいいのかを参加者と一緒に実践しながら学びます。

昨年度は、富合校区（南田尻）、田迎南校区、田迎校区で開催しました。地域住民を始め、地域の役員さん、小学校、介護関係事業所、まちづくりセンターも一緒に取組んでいます。

推進方針3：認知症支援分野の取組について

認知症サポーター養成講座

　認知症を正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者を増やすための講座を開催しています。

　講座を担当するのは、キャラバン・メイト養成講座を受講したキャラバン・メイトさんたちです。

　認知症支援のシンボルカラーはオレンジ、キャラバン・メイトのマスコットキャラクターをロバ隊長といいます。

		実績
令和7年度 認知症サポーター養成講座	年間開催数	43か所
	年間受講者数	1821名

推進方針3：認知症支援分野の取組について

認知症サポーター養成講座（令和7年度分）

川尻小学校	平原いきいきサロン	モナコパレスはません店
城南小学校	甲畠口いきいきサロン	肥後銀行力合近見支店
日吉小学校	大工ノキ楽々サロン	株式会社翔薬社員
飽田南小学校	今町ふれあいサロン	メロン家族会
田迎西小学校	田迎西校区老人クラブ	おりがえかふぇ
富合小学校	木原老人クラブ	田迎校区社会福祉協議会
奥古閑小学校	廻江団地住民	南田尻自治会
隈庄小学校	二十丁相生会	南区高齢者見守り支え合いプロジェクト協力機関
力合小学校	熟年クラブ	城南校区社会福祉協議会
杉上小学校	飽田西小学校	富合校区健康まちづくり推進員
銭塘小学校	飽田東小学校	生活協同組合くまもと熊本南支所
田迎小学校	県立農業高校	南部在宅福祉センター
富合中学校	南区役所職員	

推進方針3：認知症支援分野の取組について

認知症サポーター養成講座

認知症キッズサポーター養成講座を受けてくださった児童、生徒向けにプレゼントする「ロバ隊長キーホルダー」も地域の関係者と一緒に手作りしています。







推進方針3：認知症支援分野の取組について

認知症分野における実務者会議(2.5層会議)

NEW！

南区内の認知症支援に携わっている多職種と、課題の共有や対応策について協議する会議を初めて開催しました。

参加者

・ケアサポートメロン
・天寿園
・介護老人保健施設光乃里
・特別養護老人ホームつくし庵
・グループホーム城南スマイル
・熊本大学大学院老年看護学准教授
・そうごう薬局
・熊本地域リハビリテーション
　広域支援センター(にしくまもと病院)
・地域包括支援センター(6か所)
・Violaケアサポート
・祥麟館居宅介護支援事業所
・居宅介護支援事業所一歩
・居宅介護支援事業所PRODUCE
・居宅介護支援事業所ゆうとぴあ
・居宅介護支援事業所ときわ
・ふれあい共生居宅介護支援事業所
・居宅介護支援事業所樹希
・熊本県作業療法士会
・南区福祉課

推進方針3：認知症支援分野の取組について

認知症分野における実務者会議（2.5層会議）

NEW！





推進方針3：認知症支援分野の取組について

NEW！

南区オレンジフェスタ

“新しい認知症観”を知っていただき、認知症の人とその家族が地域で安心して暮らせるまちづくりを進めるため、認知症支援に関するイベントを開催しました。

新しい認知症観

認知症になっても、やりたいことができる、希望を持って自分らしく暮らしていくことができる社会の実現を目指す。

推進方針3：認知症支援分野の取組について

南区オレンジフェスタ

【日　時】令和8年7月20日(月・祝)
13時から16時30分

【場　所】アスパル富合ホール及び研修室

【参加者】映画鑑賞者　149名
健康チェック利用者　40名
介護美容利用者　8名
ワークショップ参加者　大人12名
こども14名
延べ　223名(スタッフ除く)
スタッフ　55名

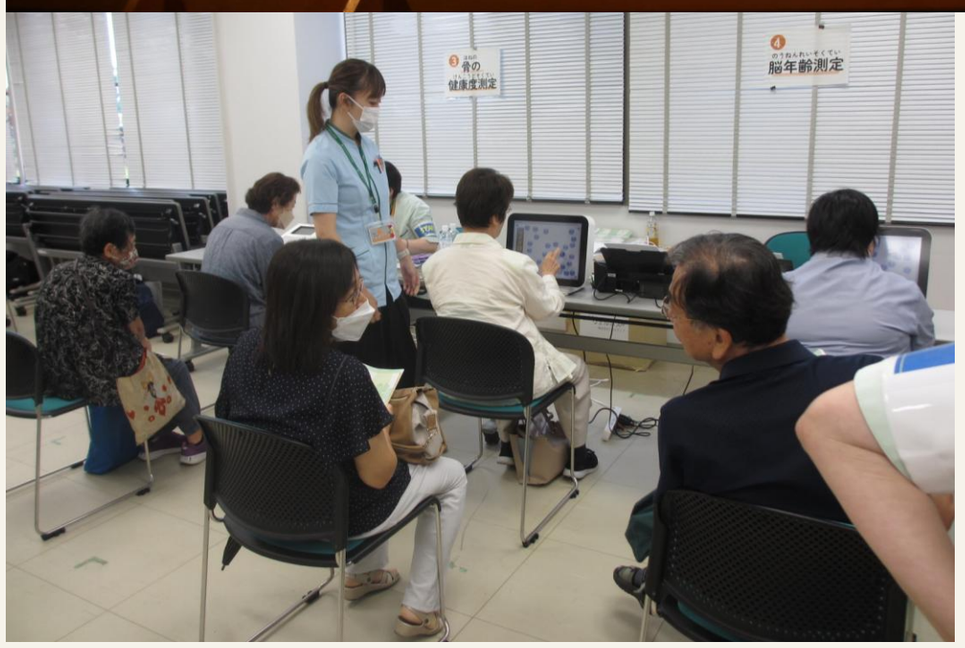
【内　容】
（1）映画鑑賞
「オレンジランプ」
（2）地域活動紹介
（3）当事者のポスター発表
（4）ワークショップ
（5）健康チェック
（6）介護用品・グッズ紹介
（7）介護美容

推進方針3：認知症支援分野の取組について

南区オレンジフェスタ









推進方針3：認知症支援分野の取組について

南区オレンジフェスタ







ワークショップの様子

・コースターづくり

・ロバ隊長カード作り

推進方針3：認知症支援分野の取組について

南区オレンジフェスタ







「やさしさの木」
認知症でも認知症でなくても、地域で安心して暮らせるまちづくりに向けて、今自分にできること・感じたこと・想いなどを葉っぱに書いてもらいました。

推進方針3：認知症支援分野の取組について

認知症啓発





9月は「認知症啓発月間」です。
南区管内の図書館、図書室に認知症啓発ブースを設けてくださっています。
個性あふれるロバも一緒に飾っていただいています。

南区地域包括ケアシステム推進方針

1 高齢者がいつまでも元気で自らの力を発揮できるまちづくり(介護予防)

2 医療と介護が充実し、市民が人生の最期まで在宅(地域)で安心して暮らせるまちづくり(医療介護連携)

3 認知症の人とその家族が地域で安心して暮らせるまちづくり(認知症支援)

4 高齢者が自らに合った暮らし方を選択できるまちづくり(高齢者の住まい関連)

推進方針４：住まい関連分野の取組について

デマンド型乗合タクシー

公共交通空白地域で運行していたデマンド型乗合タクシーについて、一部路線についてはAIデマンドタクシーに統合され、10月31日で運行終了します。（南区内の路線は全てAIデマンドタクシーに統合）

ささえりあ圏域	タクシー名	地区	利用人数（R6.4～R7.3）	利用人数（R7.4～R8.3）
ささえりあ飽田	畠口乗合タクシー	畠口・白石町	3名	2名
ささえりあ圏内	さくら号	藤山地区	0名	0名
	みどり号	高・赤見・碇地区	28名	24名
	杉上号	丹生宮・永地区	70名	63名
ささえりあ富合	釈迦堂号	釈迦堂地区	6名	15名
	西南号	莎崎・硴江・西田尻地区	5名	6名
ささえりあ天明	てんめい乗合タクシー	海路口・奥古閑・銭塘・川口町	77名	36名
	中緑乗合タクシー	美登里・中無田・銭塘・川尻・川口町	293名	101名
	ながなす号	上内田・西新開地区	0名	0名
合計			482名	247名

推進方針４：住まい関連分野の取組について

AIデマンドタクシー

10月1日からAIデマンドタクシーチョイソコくまもと富合･城南が本格的に運行を開始します！AIデマンドタクシー運行エリアが拡大することで、高齢者の交通手段の課題解消につながります。

期間	タクシー名	地区	利用件数
R5.4.1～R6.3.31	チョイソコくまもと西南 ※実証実験	天明・飽田・中島・ 小島校区エリア	3558件
R6.4.1～R6.6.30	チョイソコくまもと西南 ※実証実験	天明・飽田・中島・ 小島校区エリア	1061件
R6.7.1～R7.3.31	チョイソコくまもと西南 ※本格運行後	天明・飽田・中島・ 小島校区エリア	6648件
R7.4.1～R8.3.31	チョイソコくまもと西南 ※本格運行後	天明・飽田・中島・ 小島校区エリア	8975件
合計			20242件

利用者数は、交通政策部　地域交通支援課提供

推進方針４：住まい関連分野の取組について

災害対応

令和8年7月28日に発生した熊本地震後の被災者支援のため、南区内に「くらし再建支え合いセンター」を設置しました。

支え合いセンターは南区内の関係各課で構成され、被災者の抱える複合的な課題に柔軟に対応できるよう連携して取り組みます。

避難所や仮設住宅で生活する被災者だけでなく地域住民の潜在的な困りごとにも対応するため、社会福祉協議会や災害支援を専門とするNPO法人バルビーとも連携して家庭訪問等を実施していきます。

詳細は別紙6をご覧ください。

今年度後半の取組予定について

1） 第6回　南区人生会議の日

2） 南区地域包括ケアシステム推進方針の改定

　令和6年度から令和8年度までの方針を見直し、新たに3年間の目標を設定します。

　各ささえりあ毎の地域ケア会議や地域包括支援センター運営協議体の中で、関係者の皆さまからいただいたご意見を元に、ささえりあ毎の課題を抽出し、それも踏まえて南区の対応方針を定めます。みなさま、ご協力をよろしくお願いいたします。

2026年10月21日（水）
南区地域包括ケアシステム推進会議
@雁会館　会議室

Presented By : 南区役所福祉課

